

再 評 価 に 係 る 資 料

【道路関係】

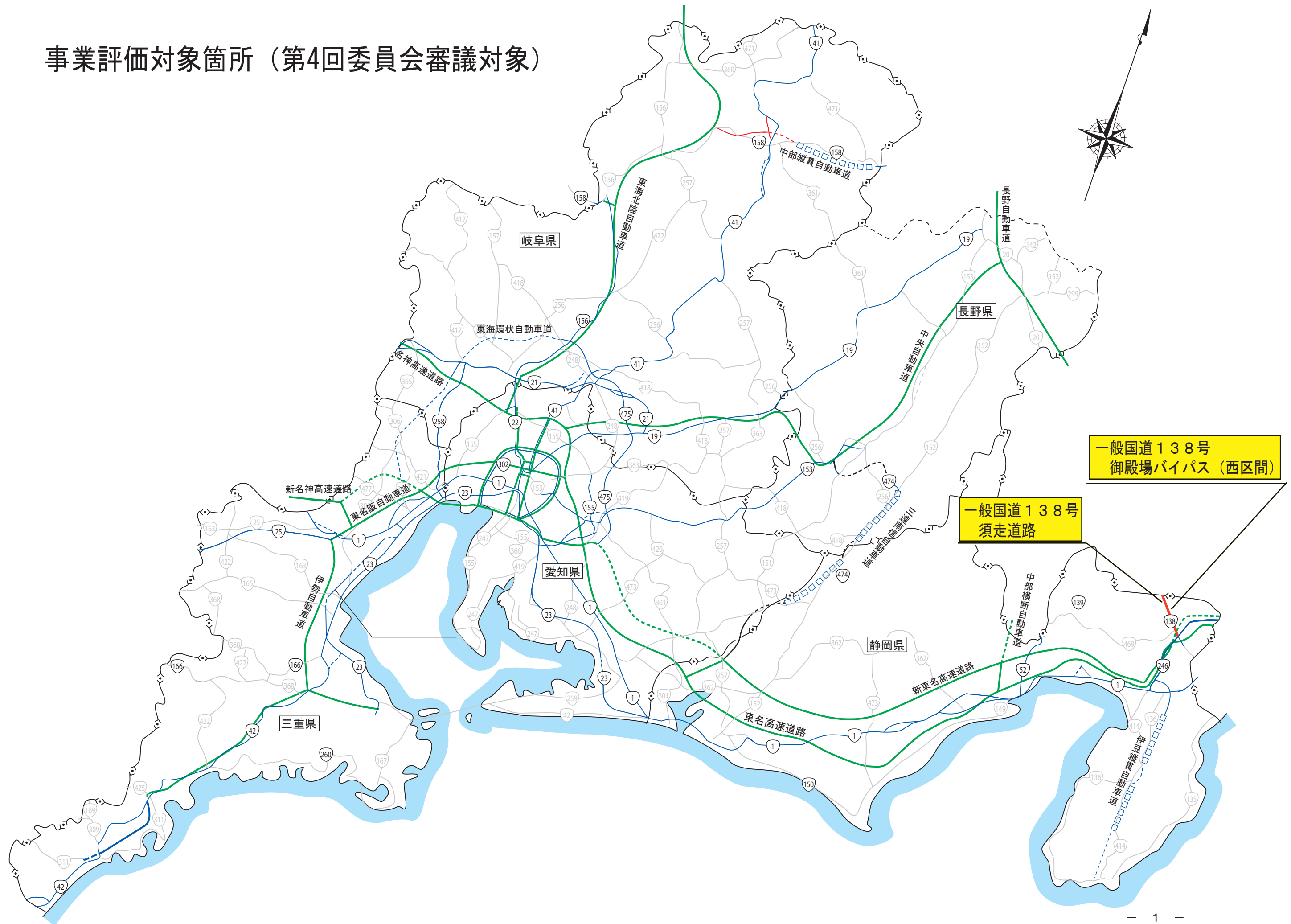
平成26年10月30日

国土交通省中部地方整備局

目 次

1. 事業再評価対象事業位置図	1
2. 事業再評価を実施する事業の一覧表（道路事業）	2
3. 費用対効果分析実施判定票	3
4. 事業再評価対象事業再評価結果原案、B／Cバックデータ	
○一般国道138号 須走道路	5
○一般国道138号 御殿場バイパス（西区間）	24

事業評価対象箇所（第4回委員会審議対象）



事業再評価を実施する事業の一覧表（道路事業）

中部地方整備局

整理 番号	事業 種別 ※1	該当 項目 ※2	都道 府県 名	路線 番号	箇 所 名	事業の目的	事業 延長 (km)	事業化 年度	都市計画 決定又は 変更年度	用地 着手 年度	工事 着手 年度	供用済 み延長 (km)	全体 事業費 (億円)	事業 進捗率 (%)	事業を巡る社会情勢等の変化	事業の状況及び今後の見通し	B／C	対応方針 (原案)	備 考
1	二次	④	沼 津	138	一般国道138号 須走道路	一般国道138号須走道路は、静岡県駿東郡小山町須走から静岡県御殿場市水士野に至る延長3. 8 kmのバイパス。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 ・災害に強い道路機能の強化 ・地域活性化の支援（観光） ・交通渋滞の緩和 ・交通事故の削減	3.8	H20	H6 H26	H24	H24	1.1	157	12	・新東名高速道路の開通、富士山世界遺産の登録及び首都圏中央連絡自動車道の開通により、周辺観光資源への観光入込客数が増加傾向。 ・バイパスに並行する一般国道138号では、依然として観光期（休日）に顕著な渋滞が発生。 ・バイパスに並行する一般国道138号では、事故危険区間が3区間存在しているほか、死傷事故率が1区間において県内国道平均以上。	駿東郡小山町須走～御殿場市水士野区間（延長2. 7km）は、新東名高速道路をはじめとする周辺のネットワークの接続状況を踏まえつつ、開通に向けて整備を進めていく。	事業全体 （2.9） 残事業 （3.7）	事業継続	
2	二次	④	沼 津	138	一般国道138号 御殿場バイパス（西 区間）	一般国道138号御殿場バイパス（西区間）は、静岡県御殿場市水士野から静岡県御殿場市萩原に至る延長4. 3kmのバイパス。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 ・災害に強い道路機能の強化 ・地域活性化の支援（観光） ・交通渋滞の緩和 ・交通事故の削減	4.3	H11	H6 H26	H14	H24	1.45	254	16	・新東名高速道路の開通、富士山世界遺産の登録及び首都圏中央連絡自動車道の開通により、周辺観光資源への観光入込客数が増加傾向。 ・バイパスに並行する一般国道138号では、依然として観光期（休日）に顕著な渋滞が発生。 ・バイパスに並行する一般国道138号では、事故危険区間が2区間存在しているほか、死傷事故率が5区間において県内国道平均以上。	御殿場市水士野～御殿場市ぐみ沢区間（延長2. 9km）は、新東名高速道路をはじめとする周辺のネットワークの接続状況を踏まえつつ、開通に向けて整備を進めていく。	事業全体 （2.7） 残事業 （3.4）	事業継続	

※1.（事業種別） 高規格：高規格
※2.（再評価該当項目） 地域高規格：地高 一般1次改築：一次 一般2次改築：二次
①事業採択後3年間を経過した時点で未着工の事業
②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業
③準備・計画段階で5年間を経過している事業
④再評価実施後3年間を経過している事業
⑤その他
※印は国土交通省所管公共事業の再評価実施要領の改定による期間

費用対効果分析実施判定票

年 度： 平成26年度

事 業 名： 一般国道138号 須走道路

担当課： 道路計画課

担当課長名： 糸野 真一郎

※各事業において全ての項目に該当する場合には、費用対効果分析を実施しないことができる。

項 目		判 定	
		判断根拠	チェック欄
(ア) 前回評価時において実施した費用対効果分析の要因に変化が見られない場合			
事業目的			
・事業目的に変更がない		■ 変更がない	■
外的要因			
・事業を巡る社会経済情勢の変化がない 判断根拠例[地元情勢等の変化がない]		■ 地元情勢等の変化がない	■
内的要因<費用便益分析関係> ※ただし、有識者等の意見に基づいて、感度分析の変動幅が別に設定されている場合には、その値を使用することができる。 注)なお、下記2.～4.について、各項目が目安の範囲内であっても、複数の要因の変化によって、基準値を下回ることが想定される場合には、費用対効果分析を実施する。			
1. 費用便益分析マニュアルの変更がない 判断根拠例[B/Cの算定方法に変更がない]		■ 変更がない(費用便益分析マニュアル(H20.11))	■
2. 需要量等の変更がない 判断根拠例[需要量等の減少が10%※以内]		■ 変更がない 前回: 2,547,926 (TE/日) → 今回: 2,550,209 (TE/日) 0.1%未満の増加	■
3. 事業費の変化 判断根拠例[事業費の増加が10%※以内]		■ 変更がない	■
4. 事業展開の変化 判断根拠例[事業期間の延長が10%※以内]		■ 変更がない 10%以内	■
(イ) 費用対効果分析を実施することが効率的でないと判断できる場合			
・事業規模に比して費用対効果分析に要する費用が大きい 判断根拠例[直近3か年の事業費の平均に対する分析費用1%以上] または、前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。		■ 前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている (全体事業) 交通量 : B/C=2.2 事業費 : B/C=2.2 事業期間 : B/C=2.4 (残事業) 交通量 : B/C=2.3 事業費 : B/C=2.3 事業期間 : B/C=2.4	
前回評価で費用対効果分析を実施している			■
一般国道138号御殿場バイパス(西区間)(重点審議)との一体評価を行っている事から、重点審議とする。			

費用対効果分析実施判定票

年 度： 平成26年度
事 業 名： 一般国道138号 御殿場バイパス(西区間)
担当課： 道路計画課
担当課長名： 糸野 真一郎

※各事業において全ての項目に該当する場合には、費用対効果分析を実施しないことができる。

項 目		判 定	
		判断根拠	チェック欄
(ア) 前回評価時において実施した費用対効果分析の要因に変化が見られない場合			
事業目的		■ 変更がない	■
外的要因			
・事業を巡る社会経済情勢の変化がない 判断根拠例[地元情勢等の変化がない]		■ 地元情勢等の変化がない	■
内的要因<費用便益分析関係> ※ただし、有識者等の意見に基づいて、感度分析の変動幅が別に設定されている場合には、その値を使用することができる。 注)なお、下記2.～4.について、各項目が目安の範囲内であっても、複数の要因の変化によって、基準値を下回ることが想定される場合には、費用対効果分析を実施する。			
1. 費用便益分析マニュアルの変更がない 判断根拠例[B/Cの算定方法に変更がない]		■ 変更がない(費用便益分析マニュアル(H20.11))	■
2. 需要量等の変更がない 判断根拠例[需要量等の減少が10%※以内]		■ 変更がない 前回:2,547,926(TE/日)→今回:2,550,209(TE/日) 0.1%未満の増加	■
3. 事業費の変化 判断根拠例[事業費の増加が10%※以内]		■ 変更あり 前回:190(億円)→今回:254(億円) 約25%の増加	□
4. 事業展開の変化 判断根拠例[事業期間の延長が10%※以内]		■ 変更がない 10%以内	■
(イ) 費用対効果分析を実施することが効率的でないと判断できる場合			
・事業規模に比して費用対効果分析に要する費用が大きい 判断根拠例[直近3か年の事業費の平均に対する分析費用1%以上] または、前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。		■ 前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている (全体事業) 交通量 : B/C=2.9 事業費 : B/C=3.0 事業期間 : B/C=3.0 (残事業) 交通量 : B/C=3.1 事業費 : B/C=3.2 事業期間 : B/C=3.3	
前回評価で費用対効果分析を実施している			■
以上より、費用対効果分析を実施するものとする。			

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）（原案）

担 当 課：

担当課長名：

事業名	一般国道138号須走道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局	
起終点	自：静岡県駿東郡小山町須走 至：静岡県御殿場市水土野				延長	3.8 km	
事業概要							
一般国道138号須走道路は、静岡県駿東郡小山町須走から静岡県御殿場市水土野に至る延長3.8 kmのバイパスであり、東富士五湖道路を経由して中央自動車道と新東名高速道路をつなぎ広域ネットワークを形成するとともに、災害に強い道路機能の強化や地域活性化の支援（観光）、交通渋滞の緩和、交通事故の削減を主な目的として事業を推進しています。							
H20年度事業化		H6年度都市計画決定 H26年度変更		H24年度用地着手		H24年度工事着手	
全体事業費		157億円	事業進捗率		12%	開通済延長 (暫定開通含む)	1.1 km
計画交通量		16,300台/日					
費用対効果 分析結果		B/C (事業全体) 2.9 (残事業) 3.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 117/146億円 事業費：98/128億円 維持管理費：19/19億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 430/430億円 走行時間短縮便益：374/374億円 走行経費減少便益：44/44億円 交通事故減少便益：13/13億円		基準年 平成26年
感度分析の結果							
(事業全体) 交通量：B/C＝2.6～3.2(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C＝3.3～4.0(交通量±10%) 事業費：B/C＝2.7～3.2(事業費±10%) 事業費：B/C＝3.4～4.0(事業費±10%) 事業期間：B/C＝2.6～3.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C＝3.5～3.8(事業期間±20%)							
事業の効果等							
①円滑なモビリティの確保							
・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。							
・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。							
・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（富士急シティバス）が存在する。							
②国土・地域ネットワークの構築							
・当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間（御殿場市、小山町）を最短時間で連絡する路線を構成する。							
・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる							
③個性ある地域の形成							
・拠点開発プロジェクト（富士御殿場工業団地、東富士リサーチパーク）へのアクセスを支援する。							
・大規模イベント（富士スピードウェイ）へのアクセスを支援する。							
・主要な観光地（御殿場市・小山町、箱根、富士五湖、富士山）へのアクセス向上が見込まれる。							
④災害への備え							
・近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落（小山町須走地区）を解消する。							
・第一次緊急輸送道路に定められている。							
・緊急輸送道路（東名高速道路・中央自動車道）が通行止になった場合に、大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。							
⑤地球環境の保全							
・CO2排出量の削減が見込まれる。							
⑥生活環境の改善・保全							
・NO2排出量・SPM排出量の削減が見込まれる。							
⑦他のプロジェクトとの関係							
・新東名高速道路と一体的に整備する必要あり。							
関係する地方公共団体等の意見							
須走道路は、交通混雑の緩和、災害に強いネットワークの確保、地域間交流の促進、物流・観光交通の支援に重要な役割を果たすことが期待されており、「東名・中央連絡道路建設促進期成同盟会」及び「環							

富士山火山防災連絡会」より道路の早期整備の要望を受けている。

県知事の意見

本事業は、静岡県と山梨県を結ぶ国道138号駿東郡小山町須走から御殿場市水土野に至る区間のバイパスであり、東富士五湖道路を経由して中央自動車道と新東名高速道路をつなぎ広域ネットワークを形成するとともに、災害に強い道路機能の強化や富士山周辺の観光振興や地域活性化、交通渋滞の緩和、交通事故の削減等に寄与する重要な事業です。

今後も、コスト縮減の徹底とともに、効果が十分に発現されるよう事業の推進をお願いします。

また、各年度の実施に際しては、引き続き、県と十分な調整をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・首都圏中央連絡自動車道が開通（H26.6）し、関東圏～東海・近畿圏を結ぶネットワークが強化されました。須走道路においても、通行止め時の迂回、災害に強い道路機能を確保することが重要となっています。
- ・新東名高速道路の開通（H24.4）、富士山世界遺産登録（H25.6）及び首都圏中央連絡自動車道の開通（H26.6）により、観光客の増加が見込まれ、須走道路は地域経済活性化の更なる支援に寄与します。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は12%、用地取得率は72%（平成25年度末）
- ・駿東郡小山町須走～御殿場市水土野区間（延長2.7km）は、H24年度より用地取得・工事に着手し、今年度も引き続き推進。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・駿東郡小山町須走～御殿場市水土野区間（延長2.7km）は、新東名高速道路をはじめとする周辺のネットワークの接続状況を踏まえつつ、開通に向けて整備を進めていきます。

施設の構造や工法の変更等

- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

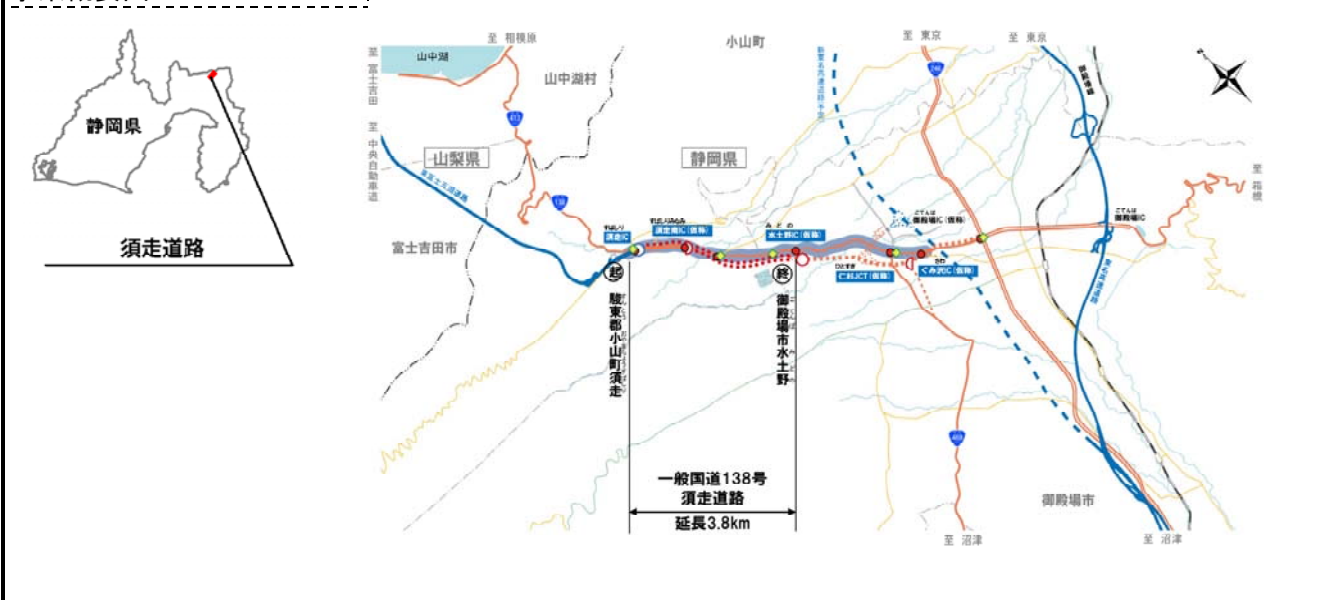
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道138号 須走道路
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	■ 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比(B/C)＝2.9 経済的純現在価値(B-C)＝284億円 経済的内部収益率(EIRR)＝11.2% 残事業：費用便益比(B/C)＝3.7 経済的純現在価値(B-C)＝313億円 経済的内部収益率(EIRR)＝14.7%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（現況）：7,628万人・時間/年 渋滞損失削減時間：70万人・時間/年（7,628万人・時間/年⇒7,558万人・時間/年） 区間b（並行区間）について：一般国道138号 並行区間の渋滞損失時間（現況）：23.4万人・時間/年 並行区間の渋滞損失削減時間：20.1万人・時間/年（23.4万人・時間/年⇒3.3万人・時間/年） 並行区間の渋滞損失削減率：約9割削減
	■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	対象区間 国道138号（須走交差点～須走1C交差点）、改善見込み（旅行速度17.8km/h⇒23.9km/h）等 ※H25.8月 プロープデータの休日旅行速度（上り）を使用
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上 の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	富士急シティバス
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
物流効率化の支援	□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
	□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
1. 活力 都市の再生	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
	□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	□ 中心市街地内で行う事業である	

		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり ☒ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する 東名高速道路、中央自動車道、新東名高速道路 ☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合） ☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される ☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する ☐ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する ☐ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する ☐ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす ☒ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 CO2排出削減量：0.6万t/年 ☒ 現道等における自動車からのNO2排出削減率 (現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別NO2について環境基準を達成している測定局数の実績 (推計結果) 評価対象区間（並行区間）：(国道138号（須走IC～水士野交差点間） 排出削減量：3.8t/年、排出削減率：約6割削減 ☒ 現道等における自動車からのSPM排出削減率 (現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別SPMについて環境基準を達成している測定局数の実績 (推計結果) 評価対象区間（並行区間）：(国道138号（須走IC～水士野交差点間） 排出削減量：0.2t/年、排出削減率：約7割削減 ☐ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある ☐ その他、環境や景観上の効果が期待される ☐ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている ☒ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり 新東名高速道路と仁杉JCT（仮称）で連結 ☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている ☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる
4. 環境	地球環境の保全	
	生活環境の改善・保全	
5. その他	他のプログラムとの関係	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道138号	須走道路	L = 3. 8 k m	二次改築	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
16, 300	4	中部地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成26年度		
単純合計	146億円	58億円	205億円
うち残事業分	118億円	58億円	176億円
基準年における 現在価値 (C)	128億円	19億円	146億円
うち残事業分	98億円	19億円	117億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成26年度			
供 用 年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	16億円	1. 6億円	0. 43億円	18億円
基準年における 現在価値 (B)	374億円	44億円	13億円	430億円
うち残事業分	374億円	44億円	13億円	430億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	2.9
経済的純現在価値（事業全体）	284億円
経済的内部収益率（事業全体）	11.2%
費用便益比（残事業）	3.7
経済的純現在価値（残事業）	313億円
経済的内部収益率（残事業）	14.7%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	16,300台/日	±10%	2.6～3.2
事業費	146億円	±10%	2.7～3.2
事業期間	18年	±20%	2.6～3.2

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	16,300台/日	±10%	3.3～4.0
事業費	118億円	±10%	3.4～4.0
事業期間	11年	±20%	3.5～3.8

交通状況の変化

様式－３①

事業名：一般国道138号須走道路（事業全体・残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 改築区間：3.8km		交通量※1	[台/日]	—	16,300
		走行時間※2	[分]	—	3.1
		走行時間費用※3	[億円/年]	—	9.04
②主な周辺道路※4	国道138号(現道)： 2.7km	交通量	[台/日]	14,100	3,000
		走行時間	[分]	5.7	4.4
		走行時間費用	[億円/年]	14.89	2.72
	(一)足柄停車場富士公園線： 7.3km	交通量	[台/日]	4,200	1,900
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	8.12	3.68
	(一)山中湖小山線： 23.8km	交通量	[台/日]	300	300
		走行時間	[分]	39	39
		走行時間費用	[億円/年]	2.36	2.14
③その他道路合計： 1228.0km		走行時間費用	[億円/年]	4,160.17	4,143.06

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1265.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,185.54	4,160.64	24.90

※１： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

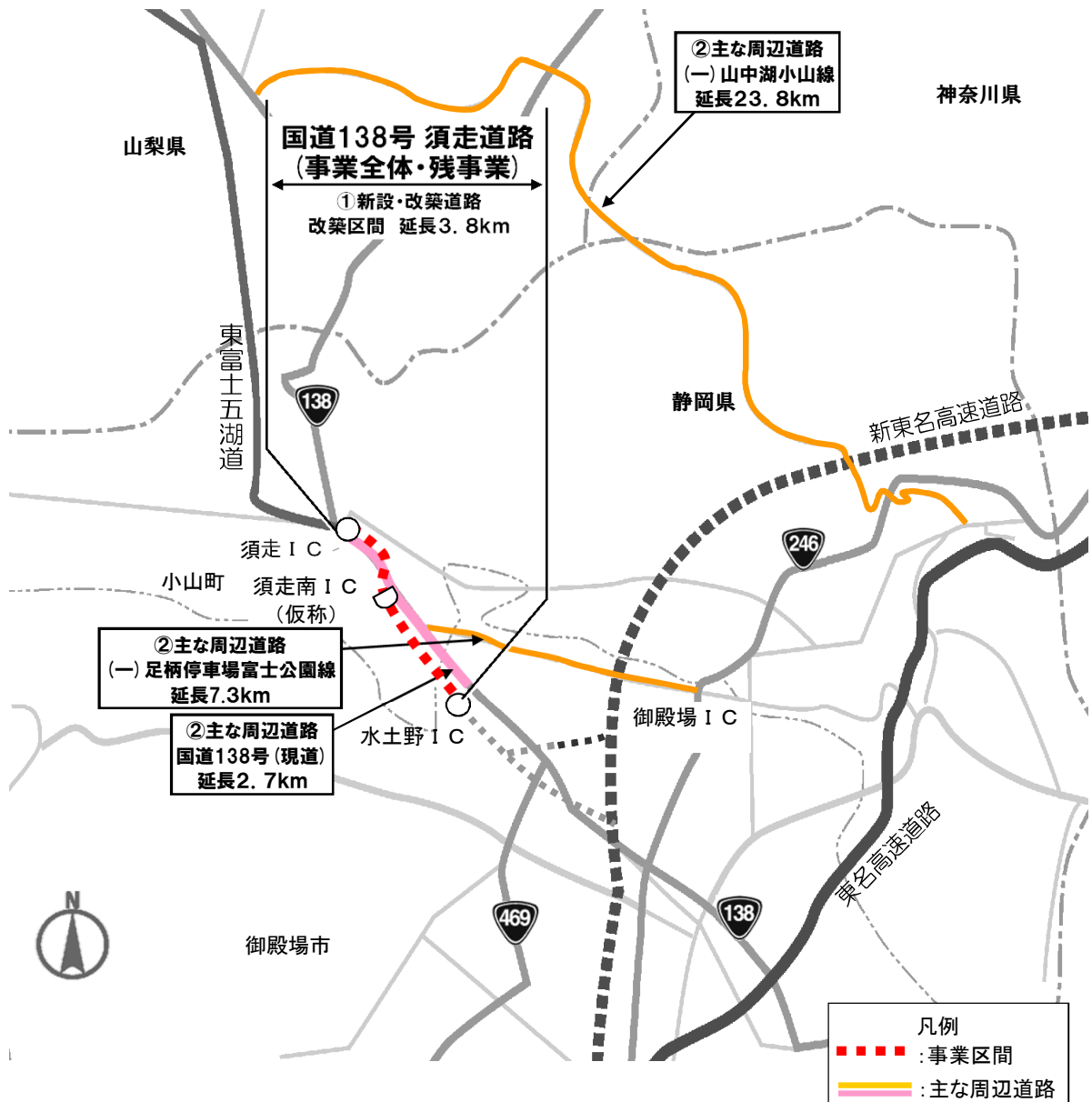
※２： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：一般国道138号須走道路

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成26年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (H42)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
	推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
		無	☒	
	開発交通量の 考慮	有	☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
		無	☒	
	配分交通量の 推計手法	Q-V式を用いた配分	☐	
		転換率式を用いた配分	☐	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	☐	
		簡易手法	☐	
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
			その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
その他()	☐			
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	☒		
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax～Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin～Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。			
	最終配分の速度	☐		
	採用理由を記載			
その他()	☐			

(3)

項目			チェック欄	
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	☐
			対象路線のみ考慮	☐
			採用した休日係数 () % 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 () 日 採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する ☐ とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 () 日 採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	☒	
		その他 ()	☐	
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒	
独自に設定した値を使用		☐		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	☐		
	中央分離帯の有無を考慮しない	☒		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	☒		
	考慮する	☐		
その他				

(4)

[illegible]

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道138号須走道路 (事業全体)				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.35	3.8	1.33	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-13年目	H 20	1.2653	96.8	0.52	0.63		
-12年目	H 21	1.2167	95.6	0.63	0.73		
-11年目	H 22	1.1699	93.7	0.71	0.81		
-10年目	H 23	1.1249	92.1	2.76	3.08		
-9年目	H 24	1.0816	91.3	6.77	7.32		
-8年目	H 25	1.0400	91.3	6.47	6.73		
基準年	H 26	1.0000	91.3	10.80	10.80		
-6年目	H 27	0.9615	91.3	19.42	18.67		
-5年目	H 28	0.9246	91.3	18.86	17.44		
-4年目	H 29	0.8890	91.3	14.42	12.82		
-3年目	H 30	0.8548	91.3	9.81	8.39		
-2年目	H 31	0.8219	91.3	11.53	9.47		
-1年目	H 32	0.7903	91.3	7.06	5.58		
供用開始年次	H 33	0.7599	91.3	7.41	5.63	0.58	0.44
1年目	H 34	0.7307	91.3	10.19	7.44	0.58	0.43
2年目	H 35	0.7026	91.3	9.26	6.51	0.58	0.41
3年目	H 36	0.6756	91.3	7.41	5.00	0.58	0.39
4年目	H 37	0.6496	91.3	2.35	1.53	0.58	0.38
5年目	H 38	0.6246	91.3			1.23	0.77
6年目	H 39	0.6006	91.3			1.23	0.74
7年目	H 40	0.5775	91.3			1.23	0.71
8年目	H 41	0.5553	91.3			1.23	0.68
9年目	H 42	0.5339	91.3			1.23	0.66
10年目	H 43	0.5134	91.3			1.23	0.63
11年目	H 44	0.4936	91.3			1.23	0.61
12年目	H 45	0.4746	91.3			1.23	0.58
13年目	H 46	0.4564	91.3			1.23	0.56
14年目	H 47	0.4388	91.3			1.23	0.54
15年目	H 48	0.4220	91.3			1.23	0.52
16年目	H 49	0.4057	91.3			1.23	0.50
17年目	H 50	0.3901	91.3			1.23	0.48
18年目	H 51	0.3751	91.3			1.23	0.46
19年目	H 52	0.3607	91.3			1.23	0.44
20年目	H 53	0.3468	91.3			1.23	0.43
21年目	H 54	0.3335	91.3			1.23	0.41
22年目	H 55	0.3207	91.3			1.23	0.39
23年目	H 56	0.3083	91.3			1.23	0.38
24年目	H 57	0.2965	91.3			1.23	0.37
25年目	H 58	0.2851	91.3			1.23	0.35
26年目	H 59	0.2741	91.3			1.23	0.34
27年目	H 60	0.2636	91.3			1.23	0.32
28年目	H 61	0.2534	91.3			1.23	0.31
29年目	H 62	0.2437	91.3			1.23	0.30
30年目	H 63	0.2343	91.3			1.23	0.29
31年目	H 64	0.2253	91.3			1.23	0.28
32年目	H 65	0.2166	91.3			1.23	0.27
33年目	H 66	0.2083	91.3			1.23	0.26
34年目	H 67	0.2003	91.3			1.23	0.25
35年目	H 68	0.1926	91.3			1.23	0.24
36年目	H 69	0.1852	91.3			1.23	0.23
37年目	H 70	0.1780	91.3			1.23	0.22
38年目	H 71	0.1712	91.3			1.23	0.21
39年目	H 72	0.1646	91.3			1.23	0.20
40年目	H 73	0.1583	91.3			1.23	0.19
41年目	H 74	0.1522	91.3			1.23	0.19
42年目	H 75	0.1463	91.3			1.23	0.18
43年目	H 76	0.1407	91.3			1.23	0.17
44年目	H 77	0.1353	91.3			1.23	0.17
45年目	H 78	0.1301	91.3			1.23	0.16
46年目	H 79	0.1251	91.3			1.23	0.15
47年目	H 80	0.1203	91.3			1.23	0.15
48年目	H 81	0.1157	91.3			1.23	0.14
49年目	H 82	0.1112	91.3	-9.41	-1.05	1.23	0.14
合 計				136.96	127.52	58.33	18.62
単純事業費計				146.37		58.33	

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道138号須走道路 (残事業)				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.35	3.8	1.33	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)	維持管理費(億円)	単純単価	現在価値
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-13年目	H 20	1.2653	96.8				
-12年目	H 21	1.2167	95.6				
-11年目	H 22	1.1699	93.7				
-10年目	H 23	1.1249	92.1				
-9年目	H 24	1.0816	91.3				
-8年目	H 25	1.0400	91.3				
基準年	H 26	1.0000	91.3				
-6年目	H 27	0.9615	91.3	19.42	18.67		
-5年目	H 28	0.9246	91.3	18.86	17.44		
-4年目	H 29	0.8890	91.3	14.42	12.82		
-3年目	H 30	0.8548	91.3	9.81	8.39		
-2年目	H 31	0.8219	91.3	11.53	9.47		
-1年目	H 32	0.7903	91.3	7.06	5.58		
供用開始年次	H 33	0.7599	91.3	7.41	5.63	0.58	0.44
1年目	H 34	0.7307	91.3	10.19	7.44	0.58	0.43
2年目	H 35	0.7026	91.3	9.26	6.51	0.58	0.41
3年目	H 36	0.6756	91.3	7.41	5.00	0.58	0.39
4年目	H 37	0.6496	91.3	2.35	1.53	0.58	0.38
5年目	H 38	0.6246	91.3			1.23	0.77
6年目	H 39	0.6006	91.3			1.23	0.74
7年目	H 40	0.5775	91.3			1.23	0.71
8年目	H 41	0.5553	91.3			1.23	0.68
9年目	H 42	0.5339	91.3			1.23	0.66
10年目	H 43	0.5134	91.3			1.23	0.63
11年目	H 44	0.4936	91.3			1.23	0.61
12年目	H 45	0.4746	91.3			1.23	0.58
13年目	H 46	0.4564	91.3			1.23	0.56
14年目	H 47	0.4388	91.3			1.23	0.54
15年目	H 48	0.4220	91.3			1.23	0.52
16年目	H 49	0.4057	91.3			1.23	0.50
17年目	H 50	0.3901	91.3			1.23	0.48
18年目	H 51	0.3751	91.3			1.23	0.46
19年目	H 52	0.3607	91.3			1.23	0.44
20年目	H 53	0.3468	91.3			1.23	0.43
21年目	H 54	0.3335	91.3			1.23	0.41
22年目	H 55	0.3207	91.3			1.23	0.39
23年目	H 56	0.3083	91.3			1.23	0.38
24年目	H 57	0.2965	91.3			1.23	0.37
25年目	H 58	0.2851	91.3			1.23	0.35
26年目	H 59	0.2741	91.3			1.23	0.34
27年目	H 60	0.2636	91.3			1.23	0.32
28年目	H 61	0.2534	91.3			1.23	0.31
29年目	H 62	0.2437	91.3			1.23	0.30
30年目	H 63	0.2343	91.3			1.23	0.29
31年目	H 64	0.2253	91.3			1.23	0.28
32年目	H 65	0.2166	91.3			1.23	0.27
33年目	H 66	0.2083	91.3			1.23	0.26
34年目	H 67	0.2003	91.3			1.23	0.25
35年目	H 68	0.1926	91.3			1.23	0.24
36年目	H 69	0.1852	91.3			1.23	0.23
37年目	H 70	0.1780	91.3			1.23	0.22
38年目	H 71	0.1712	91.3			1.23	0.21
39年目	H 72	0.1646	91.3			1.23	0.20
40年目	H 73	0.1583	91.3			1.23	0.19
41年目	H 74	0.1522	91.3			1.23	0.19
42年目	H 75	0.1463	91.3			1.23	0.18
43年目	H 76	0.1407	91.3			1.23	0.17
44年目	H 77	0.1353	91.3			1.23	0.17
45年目	H 78	0.1301	91.3			1.23	0.16
46年目	H 79	0.1251	91.3			1.23	0.15
47年目	H 80	0.1203	91.3			1.23	0.15
48年目	H 81	0.1157	91.3			1.23	0.14
49年目	H 82	0.1112	91.3	-0.39	-0.04	1.23	0.14
合 計				117.32	98.43	58.33	18.62
単純事業費計				117.70		58.33	

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道138号須走道路（事業全体-残事業）

年次	年度 (基準年) H 26	総走行台和の年次別伸び率 (東海ブロック)				GDP テ・レート	削減率 (A)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合 計 (億円)		
		乗用車・小型貨物・普通貨物・全 車						乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	② 計 (A)×②	③ ③×(A)				
		乗用車	小型貨物	普通貨物	全 車															
供用開始年次	H 33	1.00049	0.99181	1.00061	0.99916	0.7599	91.3	10.58	1.32	4.45	16.35	12.43	0.88	0.13	0.57	1.58	1.20	0.43	18.36	13.95
1年目	H 34	1.00049	0.99174	1.00060	0.99916	0.7307	91.3	10.59	1.31	4.45	16.35	11.95	0.88	0.13	0.57	1.58	1.15	0.43	18.36	13.41
2年目	H 35	1.00049	0.99167	1.00060	0.99916	0.7026	91.3	10.60	1.30	4.45	16.35	11.48	0.88	0.12	0.57	1.58	1.11	0.43	18.35	12.90
3年目	H 36	1.00049	0.99160	1.00060	0.99916	0.6756	91.3	10.60	1.29	4.45	16.34	11.04	0.88	0.12	0.57	1.58	1.07	0.43	18.35	12.40
4年目	H 37	1.00049	0.99153	1.00060	0.99916	0.6496	91.3	10.61	1.28	4.46	16.34	10.61	0.88	0.12	0.57	1.58	1.03	0.43	18.35	11.92
5年目	H 38	1.00049	0.99146	1.00060	0.99916	0.6246	91.3	15.68	1.96	7.28	24.92	15.57	1.47	0.22	1.26	2.96	1.85	0.89	28.77	17.97
6年目	H 39	1.00049	0.99139	1.00060	0.99916	0.6006	91.3	15.69	1.94	7.28	24.92	14.97	1.48	0.22	1.26	2.96	1.77	0.89	28.76	17.27
7年目	H 40	1.00049	0.99131	1.00060	0.99916	0.5775	91.3	15.70	1.93	7.29	24.91	14.39	1.48	0.22	1.26	2.95	1.71	0.89	28.76	17.27
8年目	H 41	1.00049	0.99123	1.00060	0.99915	0.5553	91.3	15.71	1.91	7.29	24.91	13.83	1.48	0.22	1.26	2.95	1.64	0.89	28.75	15.96
9年目	H 42	0.99222	0.99377	1.00221	0.99408	0.5339	91.3	15.72	1.89	7.29	24.90	13.30	1.48	0.22	1.26	2.95	1.58	0.89	28.74	15.35
10年目	H 43	0.99216	0.99373	1.00221	0.99404	0.5134	91.3	15.59	1.88	7.31	24.79	12.73	1.47	0.22	1.26	2.94	1.51	0.88	28.61	14.69
11年目	H 44	0.99210	0.99369	1.00220	0.99401	0.4936	91.3	15.47	1.87	7.33	24.67	12.18	1.45	0.21	1.27	2.93	1.45	0.87	28.48	14.06
12年目	H 45	0.99203	0.99365	1.00220	0.99397	0.4746	91.3	15.35	1.86	7.34	24.55	11.65	1.44	0.21	1.27	2.92	1.39	0.87	28.34	13.45
13年目	H 46	0.99197	0.99361	1.00219	0.99393	0.4564	91.3	15.23	1.85	7.36	24.43	11.15	1.43	0.21	1.27	2.91	1.33	0.86	28.21	12.88
14年目	H 47	0.99191	0.99357	1.00219	0.99390	0.4388	91.3	15.10	1.84	7.38	24.31	10.67	1.42	0.21	1.27	2.90	1.27	0.86	28.08	12.32
15年目	H 48	0.99184	0.99353	1.00218	0.99386	0.4220	91.3	14.98	1.82	7.39	24.20	10.21	1.41	0.21	1.28	2.89	1.22	0.85	27.94	11.79
16年目	H 49	0.99177	0.99349	1.00218	0.99382	0.4057	91.3	14.86	1.81	7.41	24.08	9.77	1.40	0.21	1.28	2.88	1.17	0.85	27.81	11.28
17年目	H 50	0.99170	0.99345	1.00217	0.99378	0.3901	91.3	14.74	1.80	7.42	23.96	9.35	1.39	0.21	1.28	2.87	1.12	0.84	27.68	10.80
18年目	H 51	0.99163	0.99340	1.00217	0.99374	0.3751	91.3	14.61	1.79	7.44	23.84	8.94	1.37	0.20	1.29	2.86	1.07	0.84	27.54	10.33
19年目	H 52	0.99156	0.99336	1.00216	0.99370	0.3607	91.3	14.49	1.78	7.46	23.72	8.56	1.36	0.20	1.29	2.85	1.03	0.83	27.41	9.89
20年目	H 53	0.99149	0.99332	1.00216	0.99366	0.3468	91.3	14.37	1.76	7.47	23.61	8.19	1.35	0.20	1.29	2.84	0.99	0.83	27.28	9.46
21年目	H 54	0.99142	0.99327	1.00216	0.99362	0.3335	91.3	14.25	1.75	7.49	23.49	7.83	1.34	0.20	1.29	2.83	0.94	0.82	27.14	9.05
22年目	H 55	0.99134	0.99323	1.00215	0.99358	0.3207	91.3	14.13	1.74	7.50	23.37	7.50	1.33	0.20	1.30	2.82	0.91	0.82	27.01	8.66
23年目	H 56	0.99127	0.99318	1.00215	0.99354	0.3083	91.3	14.00	1.73	7.52	23.25	7.17	1.32	0.20	1.30	2.81	0.87	0.81	26.88	8.29
24年目	H 57	0.99119	0.99313	1.00214	0.99350	0.2965	91.3	13.88	1.72	7.54	23.14	6.86	1.30	0.20	1.30	2.80	0.83	0.81	26.74	7.93
25年目	H 58	0.99111	0.99308	1.00214	0.99346	0.2851	91.3	13.76	1.71	7.55	23.02	6.56	1.29	0.20	1.30	2.79	0.80	0.80	26.61	7.59
26年目	H 59	0.99103	0.99304	1.00213	0.99341	0.2741	91.3	13.64	1.69	7.57	22.90	6.28	1.28	0.19	1.31	2.78	0.76	0.80	26.48	7.26
27年目	H 60	0.99095	0.99299	1.00213	0.99337	0.2636	91.3	13.51	1.68	7.58	22.78	6.01	1.27	0.19	1.31	2.77	0.73	0.79	26.35	6.94
28年目	H 61	0.99087	0.99294	1.00212	0.99333	0.2534	91.3	13.39	1.67	7.60	22.66	5.74	1.26	0.19	1.31	2.76	0.70	0.79	26.21	6.64
29年目	H 62	0.99080	0.99290	1.00212	0.99329	0.2437	91.3	13.27	1.66	7.62	22.55	5.49	1.25	0.19	1.32	2.75	0.67	0.78	26.08	6.36
30年目	H 63	0.99073	0.99286	1.00211	0.99326	0.2343	91.3	13.15	1.65	7.63	22.43	5.25	1.24	0.19	1.32	2.74	0.64	0.78	25.95	6.08
31年目	H 64	0.99066	0.99281	1.00211	0.99322	0.2253	91.3	13.03	1.64	7.65	22.31	5.03	1.22	0.19	1.32	2.73	0.62	0.77	25.81	5.82
32年目	H 65	0.99059	0.99277	1.00210	0.99318	0.2166	91.3	12.90	1.62	7.67	22.19	4.81	1.21	0.19	1.32	2.72	0.59	0.76	25.68	5.56
33年目	H 66	0.99053	0.99273	1.00210	0.99315	0.2083	91.3	12.78	1.61	7.68	22.08	4.60	1.20	0.18	1.33	2.71	0.57	0.76	25.55	5.32
34年目	H 67	0.99046	0.99269	1.00210	0.99311	0.2003	91.3	12.66	1.60	7.70	21.96	4.40	1.19	0.18	1.33	2.70	0.54	0.75	25.42	5.09
35年目	H 68	0.99039	0.99265	1.00209	0.99307	0.1926	91.3	12.54	1.59	7.71	21.84	4.21	1.18	0.18	1.33	2.69	0.52	0.75	25.28	4.87
36年目	H 69	0.99032	0.99260	1.00209	0.99303	0.1852	91.3	12.42	1.58	7.73	21.73	4.02	1.17	0.18	1.34	2.68	0.50	0.74	25.15	4.66
37年目	H 70	0.99025	0.99256	1.00208	0.99300	0.1780	91.3	12.30	1.56	7.75	21.61	3.85	1.16	0.18	1.34	2.67	0.48	0.74	25.02	4.45
38年目	H 71	0.99018	0.99252	1.00208	0.99296	0.1712	91.3	12.18	1.55	7.76	21.50	3.68	1.15	0.18	1.34	2.66	0.46	0.73	24.89	4.26
39年目	H 72	0.99011	0.99248	1.00208	0.99292	0.1646	91.3	12.06	1.54	7.78	21.38	3.52	1.13	0.18	1.34	2.65	0.44	0.73	24.76	4.08
40年目	H 73	0.99004	0.99244	1.00207	0.99289	0.1583	91.3	11.94	1.53	7.79	21.27	3.37	1.12	0.17	1.35	2.64	0.42	0.72	24.63	3.90
41年目	H 74	0.98997	0.99239	1.00207	0.99285	0.1522	91.3	11.82	1.52	7.81	21.15	3.22	1.11	0.17	1.35	2.63	0.40	0.72	24.50	3.73
42年目	H 75	0.98990	0.99235	1.00206	0.99281	0.1463	91.3	11.70	1.51	7.83	21.04	3.08	1.10	0.17	1.35	2.62	0.38	0.71	24.37	3.57
43年目	H 76	0.98984	0.99231	1.00206	0.99278	0.1407	91.3	11.59	1.50	7.84	20.92	2.94	1.09	0.17	1.35	2.61	0.37	0.71	24.25	3.41
44年目	H 77	0.98977	0.99227	1.00206	0.99274	0.1353	91.3	11.47	1.48	7.86	20.81	2.82	1.08	0.17	1.36	2.61	0.35	0.70	24.12	3.26
45年目	H 78	0.98970	0.99223	1.00205	0.99270	0.1301	91.3	11.35	1.47	7.88	20.70	2.69	1.07	0.17	1.36	2.60	0.34	0.70	23.99	3.12
46年目	H 79	0.98963	0.99218	1.00205	0.99266	0.1251	91.3	11.23	1.46	7.89	20.59	2.58	1.06	0.17	1.36	2.59	0.32	0.69	23.86	2.99
47年目	H 80	0.98956	0.99214	1.00204	0.99263	0.1203	91.3	11.12	1.45	7.91	20.47	2.46	1.05	0.17	1.37	2.58	0.31	0.69	23.74	2.86
48年目	H 81	0.98949	0.99210	1.00204	0.99259	0.1157	91.3	11.00	1.44	7.92	20.36	2.36	1.03	0.16	1.37	2.57	0.30	0.68	23.61	2.73
49年目	H 82	0.98942	0.99206	1.00204	0.99255	0.1112	91.3	10.89	1.43	7.94	20.25	2.25	1.02	0.16	1.37	2.56	0.28	0.68	23.49	2.61
合 計							660.23	82.28	363.69	1,106.19	373.51	61.49	9.29	61.84	37.71	43.68	132.62	37.71	12.58	1,276.53
																				429.76

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	須走道路	4	3.8km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					10,238	
	改良費				2,725	
		土工	m ³	314,867	1,019	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	32,980	27	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	8,488	578	重力式擁壁、ブロック積擁壁、補強土壁
		管渠工	m			
		函渠工	m	236	167	
		調整池工	式	1	39	
		排水工	m	12,229	408	
		中央分離帯工	m	1,724	66	
		雑工	式		420	
	橋梁費				5,951	
		100m以上	m	853	4,472	連続高架橋
		100m未満	m	48	433	
		その他橋梁	m		1,046	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				573	
		車道舗装	m ²	67,310	573	
		その他舗装	m ²			
	付帯施設費				975	
		交通管理施設工	式	1	975	通信管路工、防護柵工、案内標識、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工				15	
		仮設工	式	1	15	
②用地及補償費					3,952	
	用地費			m ²	97,949	941
		宅地	m ²	45,612	734	
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²	52,336	206	
		その他	m ²			
	補償費			式	3,011	
③間接経費			式		1,510	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					15,700	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	須走道路	4	3.8km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	3.8	15	
修繕費	式	1	118	
その他	式			
維持管理費合計			133	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	須走道路	4	3.8km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					10,121	
	改良費				2,608	
		土工	m ³	284,267	920	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	32,980	27	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	8,488	578	重力式擁壁、ブロック積擁壁、補強土壁
		管渠工	m			
		函渠工	m	236	167	
		調整池工	式	1	39	
		排水工	m	11,688	389	
		中央分離帯工	m	1,724	66	
		雑工	式		420	
	橋梁費				5,951	
		100m以上	m	853	4,472	連続高架橋
		100m未満	m	48	433	
		その他橋梁	m		1,046	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				573	
		車道舗装	m ²	67,310	573	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				975	
		交通管理施設工	式	1	975	通信管路工、防護柵工、案内標識、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工				15	
		仮設工	式	1	15	
②用地及補償費					1,345	
	用地費			m ²	5,144	39
		宅地	m ²	1,514	24	
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²	3,630	14	
		その他	m ²			
	補償費			式	1,306	
③間接経費			式		1,243	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					12,709	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	須走道路	4	3.8km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	3.8	15	
修繕費	式	1	118	
その他	式			
維持管理費合計			133	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）（原案）

担当課：

担当課長名：

事業名	一般国道138号 御殿場バイパス（西区間）		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：静岡県御殿場市水土野 至：静岡県御殿場市萩原				延長	4.3km
事業概要 一般国道138号御殿場バイパス（西区間）は、静岡県御殿場市水土野から静岡県御殿場市萩原に至る延長4.3kmのバイパスであり、東富士五湖道路を經由して中央自動車道と新東名高速道路をつなぎ広域ネットワークを形成するとともに、災害に強い道路機能の確保や地域活性化の支援（観光）、交通渋滞の緩和、交通事故の削減を主な目的として事業を推進しています。						
H11年度事業化		H6年度都市計画決定 H26年度変更		H14年度用地着手		H24年度工事着手
全体事業費	254億円	事業進捗率	16%	開通済延長 （暫定開通含む）	1.45km	
計画交通量	21,200台/日					
費用対効果 分析結果	B/C （事業全体） 2.7 （残事業） 3.4	総費用 （残事業）/（事業全体） 191/234 億円 事業費：168/211億円 維持管理費：23/23億円	総便益 （残事業）/（事業全体） 641/641 億円 走行時間短縮便益：566/566億円 走行経費減少便益：63/63億円 交通事故減少便益：12/12億円	基準年 平成26年		
感度分析の結果 （事業全体） 交通量：B/C＝2.5～3.0（交通量±10%） 事業費：B/C＝2.5～3.0（事業費±10%） 事業期間：B/C＝2.3～3.1（事業期間±20%） （残事業） 交通量：B/C＝3.0～3.7（交通量±10%） 事業費：B/C＝3.1～3.7（事業費±10%） 事業期間：B/C＝3.2～3.5（事業期間±20%）						
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（富士急シティバス）が存在する。 ②都市の再生 ・区画整理等（神場南土地区画整理事業）の沿道まちづくりとの連携あり。 ③国土・地域ネットワークの構築 ・当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間（御殿場市、小山町）を最短時間で連絡する路線を構成する。 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる。 ④個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクト（富士御殿場工業団地、東富士リサーチパーク）へのアクセスを支援する。 ・大規模イベント（富士スピードウェイ）のアクセスを支援する。 ・主要な観光地（御殿場市・小山町、箱根町、富士五湖、富士山）へのアクセス向上が見込まれる。 ⑤災害への備え ・近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落（小山町須走地区）を解消する。 ・第一次緊急輸送道路に定められている。 ・緊急輸送道路（東名高速道路・中央自動車道）が通行止になった場合に、大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。 ⑥地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑦生活環境の改善・保全 ・NO2排出量・SPM排出量の削減が見込まれる。 ・騒音レベルの改善が見込まれる。 ⑧他のプロジェクトとの関係 ・新東名高速道路と一体的に整備する必要がある。						

関係する地方公共団体等の意見

御殿場バイパス（西区间）は、交通混雑の緩和、災害に強いネットワークの確保、地域間交流の促進、物流・観光交通の支援に重要な役割を果たすことが期待されており、「東名・中央連絡道路建設促進期成同盟会」及び「環富士山火山防災連絡会」より道路の早期整備の要望を受けている。

県知事の意見

本事業は、静岡県と山梨県を結ぶ国道138号御殿場市水土野から同市萩原に至る区間のバイパスであり、東富士五湖道路を經由して中央自動車道と新東名高速道路をつなぎ広域ネットワークを形成するとともに、災害に強い道路機能の強化や富士山周辺の観光振興や地域活性化、交通渋滞の緩和、交通事故の削減等に寄与する重要な事業です。

前回の再評価と比較し、全体事業費が増額されていることから、今後も、コスト縮減を徹底するとともに、効果が十分に発現されるよう事業の推進をお願いします。

また、各年度の実施に際しては、引き続き、県と十分な調整をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・首都圏中央連絡自動車道が開通（H26.6）し、関東圏～東海・近畿圏を結ぶネットワークが強化されました。御殿場バイパス（西区间）においても、通行止め時の迂回、災害に強い道路機能を確保することが重要となっています
- ・新東名高速道路の開通（H24.4）、富士山世界遺産登録（H25.6）及び首都圏中央連絡自動車道の開通（H26.6）により、観光客の増加が見込まれ、御殿場バイパス（西区间）は地域経済活性化の更なる支援に寄与します。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は16%、用地取得率は77%（平成25年度末）
- ・御殿場市水土野～御殿場市ぐみ沢区間（延長2.9km）は、H24年度より用地取得・工事に着手し、今年度も引き続き推進。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・御殿場市水土野～御殿場市ぐみ沢区間（延長2.9km）は、新東名高速道路はじめとする周辺のネットワークの接続状況を踏まえつつ、開通に向けて整備を進めていきます。

施設の構造や工法の変更等

- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

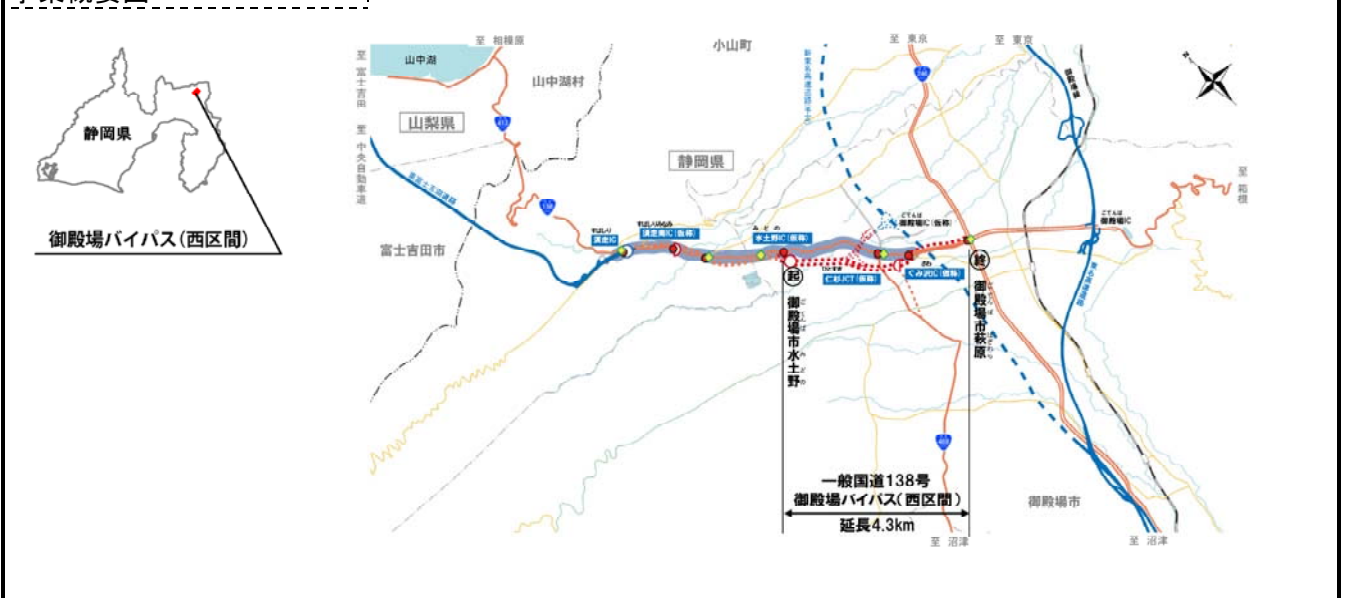
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道138号 御殿場バイパス（西区間）
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	■ 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比(B/C)＝2.7 経済的純現在価値(B-C)＝407億円 経済的内部収益率(EIRR)＝9.9% 残事業：費用便益比(B/C)＝3.4 経済的純現在価値(B-C)＝450億円 経済的内部収益率(EIRR)＝12.7%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（車用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（現況）：7,628万人・時間/年 渋滞損失削減時間：115万人・時間/年（7,628万人・時間/年⇒7,514万人・時間/年） 区間b（並行区間）について：一般国道138号 並行区間の渋滞損失時間（現況）：37.2万人・時間/年 並行区間の渋滞損失削減時間：29.8万人・時間/年（37.2万人・時間/年⇒7.3万人・時間/年） 並行区間の渋滞損失削減率：約8割削減
	■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	対象区間 国道138号（仁杉交差点～ぐみ沢上交差点）、改善見込み（旅行速度18.1km/h⇒21.5km/h）等 ※125.8月 プロープデータの休日旅行速度（上り）を使用
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上 の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	富士急シティバス
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
物流効率化の支援	□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
	□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
1. 活力 都市の再生	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
	■ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	神場南土地区画整理事業
	□ 中心市街地内で行う事業である	

[illegible]

4. 環境	地球環境の保全 生活環境の改善・保全	☒ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地産防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	静岡県地域防災計画において、第一次緊急輸送道路に定められている
		☒ 緊急輸送道路が通行上になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	東名高速道路、中央自動車道、新東名高速道路
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		☐ 現道等の防災拠点又は震災点検要対策箇所もしくはは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		☐ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		☐ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		☐ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
		☒ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：0.9万t/年
		☒ 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別 NO2について環境基準を達成している測定局数の実績 （推計結果） 評価対象区間（並行区間）：（国道138号（水士野～萩原北交差点間） 排出削減量：4.7t/年、排出削減率：約4割削減
5. その他	他との関係	☒ 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別 SPMについて環境基準を達成している測定局数の実績 （推計結果） 評価対象区間（並行区間）：（国道138号（水士野～萩原北交差点間） 排出削減量：0.3t/年、排出削減率：約4割削減
		☒ 現道等と騒音レベルが夜間基準限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	国道138号（御殿場市仁杉）：夜間騒音レベル65dB（環境基準65dBを超過）、延長5.5km 整備後：69dB⇒61dBに改善
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	
		☐ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		☒ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	新東名高速道路とに杉JCT（仮称）で連結
		☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道138号	御殿場バイパス (西区間)	L = 4. 3 k m	二次改築	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
21, 200	4	中部地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成26年度		
単純合計	238億円	71億円	309億円
うち残事業分	197億円	71億円	268億円
基準年における 現在価値 (C)	211億円	23億円	234億円
うち残事業分	168億円	23億円	191億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成26年度			
供 用 年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	21億円	2.1億円	0.17億円	23億円
基準年における 現在価値 (B)	566億円	63億円	12億円	641億円
うち残事業分	566億円	63億円	12億円	641億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	2.7
経済的純現在価値（事業全体）	407億円
経済的内部収益率（事業全体）	9.9%
費用便益比（残事業）	3.4
経済的純現在価値（残事業）	450億円
経済的内部収益率（残事業）	12.7%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	21,200台/日	±10%	2.5～3.0
事業費	238億円	±10%	2.5～3.0
事業期間	27年	±20%	2.3～3.1

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	21,200台/日	±10%	3.0～3.7
事業費	197億円	±10%	3.1～3.7
事業期間	11年	±20%	3.2～3.5

交通状況の変化

様式－3①

事業名：一般国道138号御殿場バイパス（西区間）（事業全体・残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 改築区間：4.3km (※評価区間は仁杉JCT ランプ部を含む5.2km)		交通量※1	[台/日]	—	21,200
		走行時間※2	[分]	—	5.8
		走行時間費用※3	[億円/年]	—	19.36
②主な周 辺道路※4	国道138 号(現 道)： 4.0km	交通量	[台/日]	15,000	3,300
		走行時間	[分]	8	6
		走行時間費用	[億円/年]	20.45	3.64
	(一) 足 柄停車場 富士公園 線： 7.3km	交通量	[台/日]	5,700	1,900
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	11.18	3.68
	(一) 山 中湖小山 線： 23.8km	交通量	[台/日]	300	300
		走行時間	[分]	39	39
		走行時間費用	[億円/年]	2.35	2.14
③その他道路合計 ：1225.3km		走行時間費用	[億円/年]	4,165.63	4,131.82

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1265.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,199.61	4,160.64	38.97

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

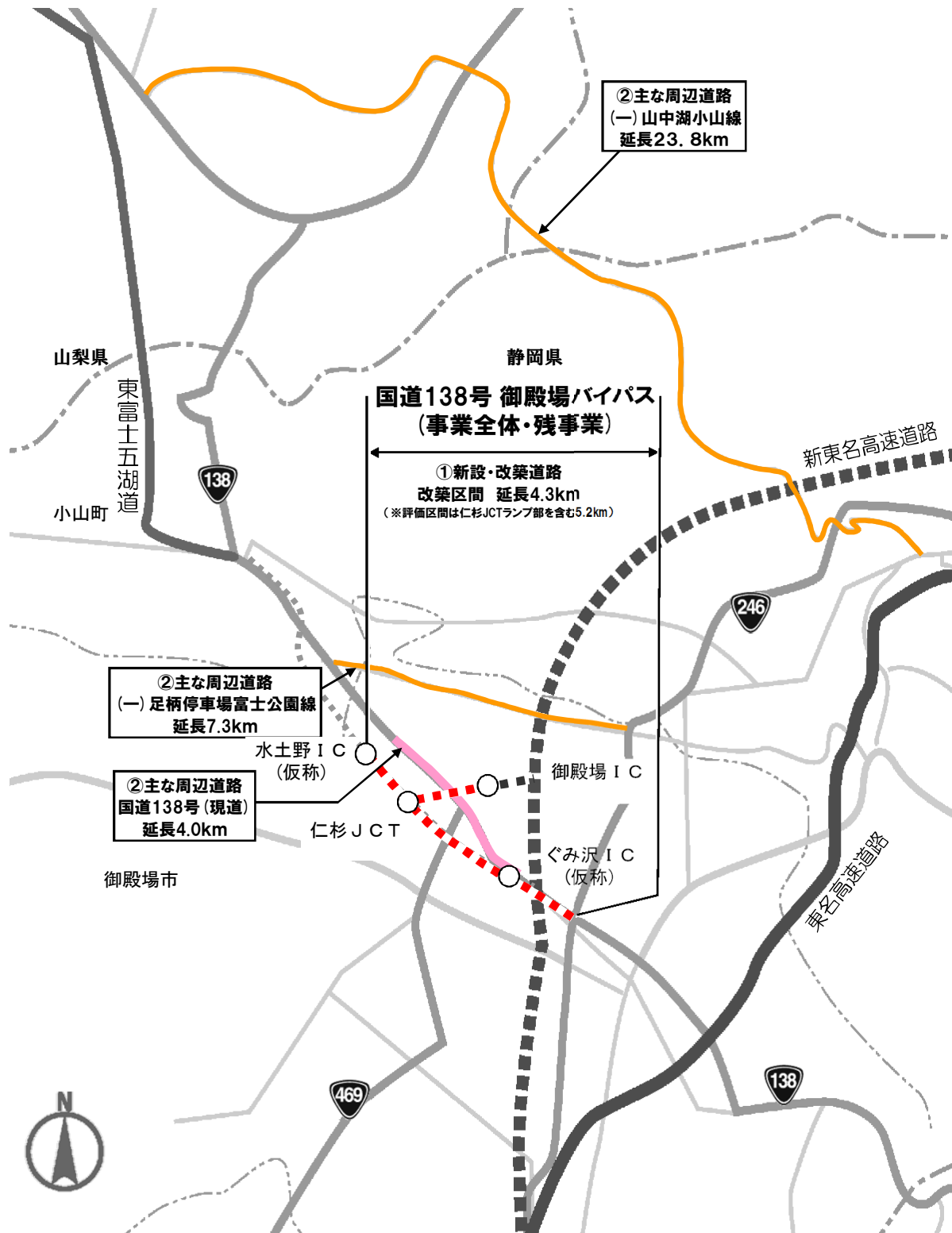
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：一般国道138号御殿場バイパス（西区间）

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成26年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (H42)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
		無	☒	
	開発交通量の考慮	有	☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
		無		
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	☐	
		転換率式を用いた配分	☐	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	☐	
		簡易手法	☐	
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
			その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
その他()	☐			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	☒		
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax～Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin～Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。			
	最終配分の速度	☐		
	採用理由を記載			
その他()	☐			

(3)

項目			チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない		■	
		考慮する		☐	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮		☐
			対象路線のみ考慮		☐
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない		■	
		考慮する		☐	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載		() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載		☐
	冬期交通の 影響	考慮しない		■	
		考慮する		☐	
		考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載		() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
	交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■	
		その他 (			

(4)

[illegible]

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)						
箇所名：一般国道138号御殿場バイパス(西区間)					単価 (億円)	延長 (km)
(事業全体)					0.37	4.3
					単純単価(億円)	
					1.61	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)	維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	現在価値
-22年目	H 11	1.8009	108.4	1.62	2.46	
-21年目	H 12	1.7317	107.2	0.48	0.70	
-20年目	H 13	1.6651	105.7	0.48	0.68	
-19年目	H 14	1.6010	103.8	0.68	0.96	
-18年目	H 15	1.5395	102.3	0.38	0.52	
-17年目	H 16	1.4802	101.0	0.48	0.64	
-16年目	H 17	1.4233	99.6	0.48	0.62	
-15年目	H 18	1.3686	98.7	0.51	0.65	
-14年目	H 19	1.3159	97.6	1.33	1.64	
-13年目	H 20	1.2653	96.8	0.52	0.63	
-12年目	H 21	1.2167	95.6	0.70	0.82	
-11年目	H 22	1.1699	93.7	0.71	0.81	
-10年目	H 23	1.1249	92.1	2.79	3.11	
-9年目	H 24	1.0816	91.3	10.62	11.48	
-8年目	H 25	1.0400	91.3	7.26	7.55	
基準年	H 26	1.0000	91.3	11.60	11.60	
-6年目	H 27	0.9615	91.3	17.13	16.47	
-5年目	H 28	0.9246	91.3	28.93	26.75	
-4年目	H 29	0.8890	91.3	46.58	41.41	
-3年目	H 30	0.8548	91.3	37.72	32.24	
-2年目	H 31	0.8219	91.3	38.60	31.73	
-1年目	H 32	0.7903	91.3	12.50	9.88	
供用開始年次	H 33	0.7599	91.3	1.85	1.41	0.78
1年目	H 34	0.7307	91.3	5.32	3.89	0.57
2年目	H 35	0.7026	91.3	3.24	2.28	0.55
3年目	H 36	0.6756	91.3	2.31	1.56	0.53
4年目	H 37	0.6496	91.3	2.78	1.80	0.51
5年目	H 38	0.6246	91.3			1.49
6年目	H 39	0.6006	91.3			1.49
7年目	H 40	0.5775	91.3			1.49
8年目	H 41	0.5553	91.3			1.49
9年目	H 42	0.5339	91.3			1.49
10年目	H 43	0.5134	91.3			1.49
11年目	H 44	0.4936	91.3			1.49
12年目	H 45	0.4746	91.3			1.49
13年目	H 46	0.4564	91.3			1.49
14年目	H 47	0.4388	91.3			1.49
15年目	H 48	0.4220	91.3			1.49
16年目	H 49	0.4057	91.3			1.49
17年目	H 50	0.3901	91.3			1.49
18年目	H 51	0.3751	91.3			1.49
19年目	H 52	0.3607	91.3			1.49
20年目	H 53	0.3468	91.3			1.49
21年目	H 54	0.3335	91.3			1.49
22年目	H 55	0.3207	91.3			1.49
23年目	H 56	0.3083	91.3			1.49
24年目	H 57	0.2965	91.3			1.49
25年目	H 58	0.2851	91.3			1.49
26年目	H 59	0.2741	91.3			1.49
27年目	H 60	0.2636	91.3			1.49
28年目	H 61	0.2534	91.3			1.49
29年目	H 62	0.2437	91.3			1.49
30年目	H 63	0.2343	91.3			1.49
31年目	H 64	0.2253	91.3			1.49
32年目	H 65	0.2166	91.3			1.49
33年目	H 66	0.2083	91.3			1.49
34年目	H 67	0.2003	91.3			1.49
35年目	H 68	0.1926	91.3			1.49
36年目	H 69	0.1852	91.3			1.49
37年目	H 70	0.1780	91.3			1.49
38年目	H 71	0.1712	91.3			1.49
39年目	H 72	0.1646	91.3			1.49
40年目	H 73	0.1583	91.3			1.49
41年目	H 74	0.1522	91.3			1.49
42年目	H 75	0.1463	91.3			1.49
43年目	H 76	0.1407	91.3			1.49
44年目	H 77	0.1353	91.3			1.49
45年目	H 78	0.1301	91.3			1.49
46年目	H 79	0.1251	91.3			1.49
47年目	H 80	0.1203	91.3			1.49
48年目	H 81	0.1157	91.3			1.49
49年目	H 82	0.1112	91.3	-26.91	-2.99	1.49
合 計				210.70	211.31	22.87
単純事業費計				237.61	70.98	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)						
箇所名：一般国道138号御殿場バイパス(西区间)				単価 (億円)	延長 (km)	単純単価(億円)
(残事業)				0.37	4.3	1.61
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)	維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	現在価値
-22年目	H 11	1.8009	108.4			
-21年目	H 12	1.7317	107.2			
-20年目	H 13	1.6651	105.7			
-19年目	H 14	1.6010	103.8			
-18年目	H 15	1.5395	102.3			
-17年目	H 16	1.4802	101.0			
-16年目	H 17	1.4233	99.6			
-15年目	H 18	1.3686	98.7			
-14年目	H 19	1.3159	97.6			
-13年目	H 20	1.2653	96.8			
-12年目	H 21	1.2167	95.6			
-11年目	H 22	1.1699	93.7			
-10年目	H 23	1.1249	92.1			
-9年目	H 24	1.0816	91.3			
-8年目	H 25	1.0400	91.3			
基準年	H 26	1.0000	91.3			
-6年目	H 27	0.9615	91.3	17.13	16.47	
-5年目	H 28	0.9246	91.3	28.93	26.75	
-4年目	H 29	0.8890	91.3	46.58	41.41	
-3年目	H 30	0.8548	91.3	37.72	32.24	
-2年目	H 31	0.8219	91.3	38.60	31.73	
-1年目	H 32	0.7903	91.3	12.50	9.88	
供用開始年次	H 33	0.7599	91.3	1.85	1.41	0.78
1年目	H 34	0.7307	91.3	5.32	3.89	0.57
2年目	H 35	0.7026	91.3	3.24	2.28	0.55
3年目	H 36	0.6756	91.3	2.31	1.56	0.53
4年目	H 37	0.6496	91.3	2.78	1.80	0.51
5年目	H 38	0.6246	91.3			1.49
6年目	H 39	0.6006	91.3			1.49
7年目	H 40	0.5775	91.3			1.49
8年目	H 41	0.5553	91.3			1.49
9年目	H 42	0.5339	91.3			1.49
10年目	H 43	0.5134	91.3			1.49
11年目	H 44	0.4936	91.3			1.49
12年目	H 45	0.4746	91.3			1.49
13年目	H 46	0.4564	91.3			1.49
14年目	H 47	0.4388	91.3			1.49
15年目	H 48	0.4220	91.3			1.49
16年目	H 49	0.4057	91.3			1.49
17年目	H 50	0.3901	91.3			1.49
18年目	H 51	0.3751	91.3			1.49
19年目	H 52	0.3607	91.3			1.49
20年目	H 53	0.3468	91.3			1.49
21年目	H 54	0.3335	91.3			1.49
22年目	H 55	0.3207	91.3			1.49
23年目	H 56	0.3083	91.3			1.49
24年目	H 57	0.2965	91.3			1.49
25年目	H 58	0.2851	91.3			1.49
26年目	H 59	0.2741	91.3			1.49
27年目	H 60	0.2636	91.3			1.49
28年目	H 61	0.2534	91.3			1.49
29年目	H 62	0.2437	91.3			1.49
30年目	H 63	0.2343	91.3			1.49
31年目	H 64	0.2253	91.3			1.49
32年目	H 65	0.2166	91.3			1.49
33年目	H 66	0.2083	91.3			1.49
34年目	H 67	0.2003	91.3			1.49
35年目	H 68	0.1926	91.3			1.49
36年目	H 69	0.1852	91.3			1.49
37年目	H 70	0.1780	91.3			1.49
38年目	H 71	0.1712	91.3			1.49
39年目	H 72	0.1646	91.3			1.49
40年目	H 73	0.1583	91.3			1.49
41年目	H 74	0.1522	91.3			1.49
42年目	H 75	0.1463	91.3			1.49
43年目	H 76	0.1407	91.3			1.49
44年目	H 77	0.1353	91.3			1.49
45年目	H 78	0.1301	91.3			1.49
46年目	H 79	0.1251	91.3			1.49
47年目	H 80	0.1203	91.3			1.49
48年目	H 81	0.1157	91.3			1.49
49年目	H 82	0.1112	91.3	-9.44	-1.05	1.49
合 計				187.53	168.37	70.98
単純事業費計				196.97	70.98	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道138号御殿場バイパス(西区間)（事業全体・残事業）

年次	年度 (基準年) H 26	総走行台和の年次別伸び率 (東海7道分)				GDP テ・レート	削減率 (A)		走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合 計 (億円)							
		乗用車		全 車			乗用車		普通貨物		① 計		現在価値 ①×(A)		乗用車		普通貨物		② 計		現在価値 (A)×②		現在価値 ③×(A)		便益合計 (①~③)	割引率4%
		小型貨物	普通貨物	小型貨物	普通貨物		小型貨物	普通貨物	小型貨物	普通貨物	小型貨物	普通貨物	小型貨物	普通貨物	小型貨物	普通貨物	小型貨物	普通貨物	小型貨物	普通貨物						
供用開始年次	H 33	1.00049	0.99181	1.00061	0.99916	0.7599	91.3	13.83	2.41	4.85	21.09	16.02	1.07	0.18	0.83	2.08	1.58	0.17	0.13	23.34	17.74	23.34	17.74	23.34	17.74	
1年目	H 34	1.00049	0.99174	1.00060	0.99916	0.7307	91.3	13.83	2.39	4.85	21.08	15.40	1.07	0.18	0.83	2.08	1.52	0.17	0.13	23.33	17.05	23.33	17.05	23.33	17.05	
2年目	H 35	1.00049	0.99167	1.00060	0.99916	0.7026	91.3	13.84	2.37	4.85	21.07	14.80	1.07	0.18	0.83	2.08	1.46	0.17	0.12	23.32	16.39	23.32	16.39	23.32	16.39	
3年目	H 36	1.00049	0.99160	1.00060	0.99916	0.6756	91.3	13.85	2.35	4.85	21.06	14.23	1.07	0.18	0.83	2.08	1.41	0.17	0.12	23.31	15.75	23.31	15.75	23.31	15.75	
4年目	H 37	1.00049	0.99153	1.00060	0.99916	0.6496	91.3	13.85	2.33	4.86	21.05	13.67	1.07	0.18	0.83	2.08	1.35	0.17	0.11	23.30	15.14	23.30	15.14	23.30	15.14	
5年目	H 38	1.00049	0.99146	1.00060	0.99916	0.6246	91.3	25.49	4.12	9.43	39.04	24.38	2.11	0.33	1.86	4.31	2.69	0.92	0.58	44.27	27.65	44.27	27.65	44.27	27.65	
6年目	H 39	1.00049	0.99139	1.00060	0.99916	0.6006	91.3	25.50	4.08	9.44	39.02	23.43	2.12	0.33	1.86	4.31	2.59	0.92	0.55	44.25	26.58	44.25	26.58	44.25	26.58	
7年目	H 40	1.00049	0.99131	1.00060	0.99916	0.5775	91.3	25.51	4.05	9.44	39.00	22.52	2.12	0.33	1.86	4.31	2.49	0.92	0.53	44.23	25.54	44.23	25.54	44.23	25.54	
8年目	H 41	1.00049	0.99123	1.00060	0.99915	0.5553	91.3	25.52	4.01	9.45	38.98	21.65	2.12	0.33	1.87	4.31	2.39	0.92	0.51	44.21	24.55	44.21	24.55	44.21	24.55	
9年目	H 42	0.99222	0.99377	1.00221	0.99408	0.5339	91.3	25.54	3.98	9.46	38.97	20.80	2.12	0.32	1.87	4.31	2.30	0.92	0.49	44.20	23.60	44.20	23.60	44.20	23.60	
10年目	H 43	0.99216	0.99373	1.00221	0.99404	0.5134	91.3	25.34	3.95	9.48	38.77	19.90	2.10	0.32	1.87	4.29	2.20	0.91	0.47	43.97	22.58	43.97	22.58	43.97	22.58	
11年目	H 44	0.99210	0.99369	1.00220	0.99401	0.4936	91.3	25.14	3.93	9.50	38.56	19.03	2.09	0.32	1.87	4.28	2.11	0.91	0.45	43.75	21.60	43.75	21.60	43.75	21.60	
12年目	H 45	0.99203	0.99365	1.00220	0.99397	0.4746	91.3	24.94	3.90	9.52	38.36	18.21	2.07	0.32	1.88	4.27	2.02	0.90	0.43	43.53	20.66	43.53	20.66	43.53	20.66	
13年目	H 46	0.99197	0.99361	1.00219	0.99393	0.4564	91.3	24.74	3.88	9.54	38.16	17.42	2.05	0.32	1.88	4.25	1.94	0.90	0.41	43.31	19.77	43.31	19.77	43.31	19.77	
14年目	H 47	0.99191	0.99357	1.00219	0.99390	0.4388	91.3	24.54	3.85	9.56	37.96	16.65	2.04	0.31	1.89	4.24	1.86	0.89	0.39	43.08	18.91	43.08	18.91	43.08	18.91	
15年目	H 48	0.99184	0.99353	1.00218	0.99386	0.4220	91.3	24.34	3.83	9.58	37.75	15.93	2.02	0.31	1.89	4.22	1.78	0.89	0.37	42.86	18.09	42.86	18.09	42.86	18.09	
16年目	H 49	0.99177	0.99349	1.00218	0.99382	0.4057	91.3	24.15	3.80	9.60	37.55	15.23	2.00	0.31	1.90	4.21	1.71	0.88	0.36	42.64	17.30	42.64	17.30	42.64	17.30	
17年目	H 50	0.99170	0.99345	1.00217	0.99378	0.3901	91.3	23.95	3.78	9.62	37.35	14.57	1.99	0.31	1.90	4.19	1.64	0.88	0.34	42.42	16.55	42.42	16.55	42.42	16.55	
18年目	H 51	0.99163	0.99340	1.00217	0.99374	0.3751	91.3	23.75	3.75	9.64	37.15	13.93	1.97	0.31	1.90	4.18	1.57	0.87	0.33	42.19	15.83	42.19	15.83	42.19	15.83	
19年目	H 52	0.99156	0.99336	1.00216	0.99370	0.3607	91.3	23.55	3.73	9.67	36.94	13.33	1.95	0.30	1.91	4.16	1.50	0.86	0.31	41.97	15.14	41.97	15.14	41.97	15.14	
20年目	H 53	0.99149	0.99332	1.00216	0.99366	0.3468	91.3	23.35	3.70	9.69	36.74	12.74	1.94	0.30	1.91	4.15	1.44	0.86	0.30	41.75	14.48	41.75	14.48	41.75	14.48	
21年目	H 54	0.99142	0.99327	1.00216	0.99362	0.3335	91.3	23.15	3.68	9.71	36.54	12.19	1.92	0.30	1.92	4.14	1.38	0.85	0.28	41.53	13.85	41.53	13.85	41.53	13.85	
22年目	H 55	0.99134	0.99323	1.00215	0.99358	0.3207	91.3	22.95	3.65	9.73	36.33	11.65	1.90	0.30	1.92	4.12	1.32	0.85	0.27	41.31	13.25	41.31	13.25	41.31	13.25	
23年目	H 56	0.99127	0.99318	1.00215	0.99354	0.3083	91.3	22.75	3.63	9.75	36.13	11.14	1.89	0.29	1.92	4.11	1.27	0.84	0.26	41.08	12.67	41.08	12.67	41.08	12.67	
24年目	H 57	0.99119	0.99313	1.00214	0.99350	0.2965	91.3	22.56	3.60	9.77	35.93	10.65	1.87	0.29	1.93	4.09	1.21	0.84	0.25	40.86	12.12	40.86	12.12	40.86	12.12	
25年目	H 58	0.99111	0.99308	1.00214	0.99346	0.2851	91.3	22.36	3.58	9.79	35.73	10.19	1.86	0.29	1.93	4.08	1.16	0.83	0.24	40.64	11.59	40.64	11.59	40.64	11.59	
26年目	H 59	0.99103	0.99304	1.00213	0.99341	0.2741	91.3	22.16	3.56	9.81	35.52	9.74	1.84	0.29	1.94	4.06	1.11	0.83	0.23	40.42	11.08	40.42	11.08	40.42	11.08	
27年目	H 60	0.99095	0.99299	1.00213	0.99337	0.2636	91.3	21.96	3.53	9.83	35.32	9.31	1.82	0.29	1.94	4.05	1.07	0.82	0.22	40.19	10.59	40.19	10.59	40.19	10.59	
28年目	H 61	0.99087	0.99294	1.00212	0.99333	0.2534	91.3	21.76	3.51	9.85	35.12	8.90	1.81	0.28	1.94	4.04	1.02	0.82	0.21	39.97	10.13	39.97	10.13	39.97	10.13	
29年目	H 62	0.99080	0.99290	1.00212	0.99329	0.2437	91.3	21.56	3.48	9.87	34.92	8.51	1.79	0.28	1.95	4.02	0.98	0.81	0.20	39.75	9.69	39.75	9.69	39.75	9.69	
30年目	H 63	0.99073	0.99286	1.00211	0.99326	0.2343	91.3	21.36	3.46	9.90	34.71	8.13	1.77	0.28	1.95	4.01	0.94	0.80	0.19	39.53	9.26	39.53	9.26	39.53	9.26	
31年目	H 64	0.99066	0.99281	1.00211	0.99322	0.2253	91.3	21.17	3.43	9.92	34.51	7.78	1.76	0.28	1.96	3.99	0.90	0.80	0.18	39.31	8.86	39.31	8.86	39.31	8.86	
32年目	H 65	0.99059	0.99277	1.00210	0.99318	0.2166	91.3	20.97	3.41	9.94	34.31	7.43	1.74	0.28	1.96	3.98	0.86	0.79	0.17	39.08	8.47	39.08	8.47	39.08	8.47	
33年目	H 66	0.99053	0.99273	1.00210	0.99315	0.2083	91.3	20.77	3.38	9.96	34.11	7.11	1.72	0.27	1.97	3.96	0.83	0.79	0.16	38.86	8.10	38.86	8.10	38.86	8.10	
34年目	H 67	0.99046	0.99269	1.00210	0.99311	0.2003	91.3	20.57	3.36	9.98	33.91	6.79	1.71	0.27	1.97	3.95	0.79	0.78	0.16	38.64	7.74	38.64	7.74	38.64	7.74	
35年目	H 68	0.99039	0.99265	1.00209	0.99307	0.1926	91.3	20.38	3.33	10.00	33.71	6.49	1.69	0.27	1.97	3.94	0.76	0.78	0.15	38.42	7.40	38.42	7.40	38.42	7.40	
36年目	H 69	0.99032	0.99260	1.00209	0.99303	0.1852	91.3	20.18	3.31	10.02	33.51	6.21	1.67	0.27	1.98	3.92	0.73	0.77	0.14	38.20	7.08	38.20	7.08	38.20	7.08	
37年目	H 70	0.99025	0.99256	1.00208	0.99300	0.1780	91.3	19.99	3.28	10.04	33.31	5.93	1.66	0.27	1.98	3.91	0.70	0.77	0.14	37.99	6.76	37.99	6.76	37.99	6.76	
38年目	H 71	0.99018	0.99252	1.00208	0.99296	0.1712	91.3	19.79	3.26	10.06	33.11	5.67	1.64	0.26	1.99	3.89	0.67	0.76	0.13	37.77	6.47	37.77	6.47	37.77	6.47	
39年目	H 72	0.99011	0.99248	1.00208	0.99292	0.1646	91.3	19.60	3.24	10.08	32.92	5.42	1.63	0.26	1.99	3.88	0.64	0.76	0.12	37.55	6.18	37.55	6.18	37.55	6.18	
40年目	H 73	0.99004	0.99244	1.00207	0.99289	0.1583	91.3	19.40	3.21	10.10	32.72	5.18	1.61	0.26	1.99	3.87	0.61	0.75	0.12	37.33	5.91	37.33	5.91	37.33	5.91	
41年目																										

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	御殿場バイパス(西区間)	4	4.3km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					18,970	
	改良費				4,989	
		土工	m ³	784,615	2,181	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	80,936	69	切土法面、盛土法面、張コン
		擁壁工	式	10,690	715	重力式擁壁、プレキャストL型擁壁、補強土壁等
		管渠工	m			
		函渠工	m	301	341	
		排水工	m	40,208	1,328	
		調整池工	式	1	228	
		中央分離帯工	m	3,270	125	
		雑工	式			
	橋梁費				12,417	
		100m以上	m	1,920	10,894	連続高架橋
		100m未満	m	295	1,524	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,283	
		車道舗装	m ²	204,772	1,283	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				192	
		交通管理施設工	式	22,462	192	通信管路工、防護柵工、案内標識、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工				89	
		仮設工	式	1	89	
		雑工	式			
②用地及補償費					3,909	
	用地費		m ²		2,691	
		宅地	m ²	22,693	1,002	
		田畑	m ²	71,828	1,060	
		山林・原野	m ²	160,303	629	
		その他	m ²			
	補償費		式		1,218	
③間接経費		式			2,521	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					25,400	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	御殿場バイパス(西区間)	4	4.3km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	4.3	17	
修繕費	式	1	136	
その他	式			
維持管理費合計			153	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	御殿場バイパス(西区間)	4	4.3km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					18,003	
	改良費				4,721	
		土工	m ³	753,815	2,096	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	80,936	69	切土法面、盛土法面、張コン
		擁壁工	式	10,690	715	重力式擁壁、プレキャストL型擁壁、補強土壁等
		管渠工	m			
		函渠工	m	301	341	
		排水工	m	34,708	1,146	
		調整池工	式	1	228	
		中央分離帯工	m	3,270	125	
		雑工	式			
	橋梁費				11,717	
		100m以上	m	1,920	10,194	連続高架橋
		100m未満	m	295	1,524	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,283	
		車道舗装	m ²	204,772	1,283	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				192	
		交通管理施設工	式	22,462	192	通信管路工、防護柵工、案内標識、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工				89	
		仮設工	式	1	89	
		雑工	式			
②用地及補償費					2,118	
	用地費			m ²	944	
		宅地	m ²	12,693	561	
		田畑	m ²	21,828	322	
		山林・原野	m ²	15,703	62	
		その他	m ²			
	補償費			式	1,174	
③間接経費			式		1,076	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					21,197	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	御殿場バイパス(西区間)	4	4.3km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	4.3	17	
修繕費	式	1	136	
その他	式			
維持管理費合計			153	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上